



熊本市立 大江小学校

ときめき

2024.5.16 (木)

No. 26



文責
松永

晴天の下、運動場で元気に遊ぶ子どもたちがいっぱいです！

一昨日（14日）のお昼ごろは、雲ひとつないほどの晴天でした。こんなお天気のいい日の休み時間は、運動場に出て元気に遊ぶ子どもたちの姿がいっぱいです。運動場の真ん中あたりはボール遊びをしている

子どもたち、空いたスペースをうまく使いながらおにごっこやケイドロなどをして
いる子どもたちがいます。シーソーやうんていなどの遊具で遊んでいる子、
鉄棒の練習をがんばっている子、池や花壇の近くで生き物さがしをして
いる子…と様々です。子どもたちと一緒に遊んでいる先生の姿もあります。ALTのアザ

リア先生も「子どもたちと遊ぶのは楽しいです」とボールを手に走り回っていました。そして、感心なのが時計を見ながら、次の行動にうつれるってことです。チャイムがなるわけでもありませんが、時間を見てすーっと遊びをやめて、教室や掃除場所に動いています。この切り替えは、朝も業間も同様で、大江小も子どもたちのいいところの一つだと思っています。これから暑くなりますので、屋外では帽子を着用したり、時折水分補給をしたりするなど、熱中症対策への声かけもしていくようにします。



朝や休み時間になると、1年生は水を入れたペットボトルを手に、先日たねまきをしたあさがおに水かけをしています。生活の授業時間には、芽が出ているかな…と観察をしていました。その日は、一部小さい緑色の葉が出ていましたが、ほとんどの子どもたちの植木鉢に変化は見られなかったようです。すると植木鉢に向かって誰からともなく「がんばれ」の声をかけ始めたようで、次第にその声が重なり、大きながんばれコールになっていきました。子どもたちの純粹さにふれて、とても温かい気持ちになりました。いっしょにあさがおの生長を見守っていきたいと思っています。